



第37号



いまいさコミュニティ通信



大鍋料理教室
～災害時に何ができる～

平成29年3月25日(土)「大鍋料理教室」を開催しました。毎年、花見を兼ねて行っていた事業を、今回は「災害時になにができる？電気・ガスが使えない」を想定し、メニューや作業工程を考えました。

「ごはんを炊く」となると通常ならば炊飯器や土鍋や鍋でガスを使って…となるところ、今回は、電気・ガスは使えないがテーマの為、どうする？から通年事業部会では話し合いました。

調べてみると方法はいくつかあるようでしたが、今回は、釜戸に火をおこし、竹、釜、ビニール袋、ジップロック袋を使ってごはんを作ることになりました。

釜でごはんを炊く以外の方法は経験者ゼロ。不安と楽しみの始まりでした…火おこしは、男性陣に任せ、女性陣や子どもは米洗いやカレー、豚汁の材料切りから始めました。難しいのはごはんの水加減…竹には何度となく水を足しましたが、どのごはんも美味しく出来上がりました！

カレー、豚汁を煮込む時間を使って、参加者には「はし」を作ってもらいました。あらかじめ細めに割った竹を自分の手になじむように削っていきます。真剣な眼差しで…

出来上がった「ごはん」にカレーをかけ、豚汁と共に頂きました。





災害時になにができる...?

「災害は、忘れたころにやってくる…」と言われますが、2005年3月に経験した福岡県西方沖地震の事、忘れていませんか？九州には地震なんて…という概念を覆されたあの地震。

また、地震だけではなく、先日は、九州北部豪雨により大きな被害が発生しました。被災された皆様には、心よりお見舞申し上げます。このように近年の天候の極端さには驚かされることが多いように思います。あつては困る災害ですが日頃から家庭で出来ること、地域で出来ること考えていきましょう。

○気象情報の入手

地震は事前に入手は困難ですが、風水害に関しては注意報や警報などの情報が大切です。

○家の外、中の安全チェック

○避難場所や避難ルートの確認

○非常持ち出し品、備蓄品の準備

* 使用したあとの風呂水は、飲用以外の生活用水として活用できます。断水時には、水洗トイレに使うなどして、急場をしのぐことができます。

* 避難時は、ブレーカーや電源をオフに。
電源が入ったままになっていると、復旧したときに火災の原因になる可能性があります。



安全・自転車教室

平成29年7月15日(土)
第二小運動場にて...

今回も、博多の森ドライビングスクールより3名の方に来ていただき講義、DVD鑑賞、実技指導をしていただきました。

夏休みを前に、4・5年生と地域へ呼びかけての開催でした。梅雨が明けたのかと思うほどの夏空の下、ルールの確認や実際に想定された横断歩道、踏切、見通しの悪い道路などの指導を受け、走行しました。

ここでは、子どもだけでなく大人も再確認する事項も多く、勉強する場となりました。



指導

博多の森
ドライビングスクール

協力

須恵町交通指導員会





推進会議(総会)

平成29年5月18日(木)開催
アザレア3階・大会議室にて

平成29年度 新役員

会長	渡邊 一征	
副会長	藤田 隆雄	(子ども会育成会代表)
副会長	鈴鹿 計也	(小学校PTA会長)
副会長	稲永 慎一	(中学校PTA代表)
副会長	森川 正樹	(小学校校長)
副会長	藤 正次	(中学校校長)
推進理事	藤田 憲二	(須恵区分館主事)
推進理事	檜垣 敏樹	(藤浦区分館主事)
推進理事	田中 昌一	(城山区分館主事)
推進理事	林 徹	(長礼区分館主事)
推進理事	今泉 義光	(甲植木区コミュニティ部長)
推進理事	合屋 利博	(乙植木区分館主事)
推進理事	印藤 勝人	(旅石区分館主事)

顧問

各分館長
社会教育委員

行政所管課

まちづくり課
社会教育課

事務局

事務局長 米倉 清美
事務局員 国崎 薫
事務局員 今田 雅弘
(小教務主任)

ぺったんフェア部会

部会長 今泉義光
副部会長 田中昌一

広報部会

部会長 檜垣敏樹
副部会長 林 徹

通年事業部会

部会長 合屋利博
副部会長 藤田憲二

地域安全対策部会

部会長 印藤勝人
副部会長 稲永慎一



総会を最後に、6名の役員の方々が退任されました。

任期中、全力でコミュニティ推進、活動に取り組んでいただきました。心から感謝申し上げます。

退任後は、「いきコミ応援隊」として助けていただければ…と思います。

今回、議長を推進委員の山本謙治氏(乙植木)にお願いし、平成28年度事業報告、決算報告をはじめ平成29年度事業計画(案)、予算(案)の審議もスムーズに終了しました。

新年度をスタートするにあたり、また役員・推進委員が一同に会する機会でもあり、これまでのコミュニティ、これからのコミュニティについてプロジェクターを使い説明を行いました。

退任役員

副会長	杉本英明(中学校PTA代表)	H28～ 1年
〃	山田恒夫(中学校校長)	H28～ 1年
推進理事	合屋浩二(須恵区分館主事)	H27～ 2年
〃	松本寛夫(長礼区分館主事)	H25～ 4年
〃	今泉秀幸(甲植木コミュニティ部長)	H26～ 3年
〃	三角次雄(旅石区分館主事)	H27～ 2年



れいんぼ一幼稚園

5月16日(火) 園外保育で粕屋南部消防署に行きました。.....



5月17日(水) 保育参観で親子で車作りをしました。.....

前日見学した粕屋南部消防署を見て車を作りました。



車作り



車完成!

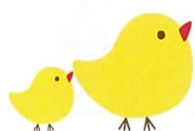


車を走らせる～

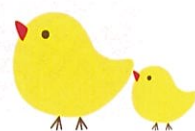
6月8日(木) 保護者合同親睦会(ビーチバレーボール).....

6月8日(木)に保護者全員でビーチバレーを楽しみました。





れいんぼー保育園



皿山公園・歴史資料館



パン作り



須恵駅までお散歩

ゆり組さん(年長)とひまわり組さん(年少)



れいんぼー農園

さつまいもの苗を植えたよ!



ぺったんフェアの準備始まりました…

6月26日(月)、5年生による「田植え」が行われました。今年も今泉剛さん(甲植木)の田んぼを借り、指導していただきました。

いつもとは違い、順調な田植え…手慣れた子どももいてクラスごとに作業が進められていました。

この日、植えられたのは「もち米」の苗です。成長し稲刈り後は、11月に開催する「ぺったんフェア」で5年生や地域の方によって「おもち」に使われる予定です。



第23回
ぺったんフェア
11月5日(日)開催決定

広報部会・編集後記

先日、仕事の関係で久留米の「地場産くるめ」という施設に行く機会があった。

「地場産くるめ」との名称に因み久留米地域の地場産品の展示販売コーナーがあったので興味深く見る事ができた。

なかでも久留米と言えば久留米かすり(紺)に興味を持った。

紺とは綿糸に藍染めをして独特の色合いを出し、白糸と藍染の糸とのコントラストにより独特の風合いをだしているとの浅薄な理解だったが、実際はもっと奥深い味わいがあるように感じた。

「青は藍より出でて藍より青し」と言われるように藍玉を発酵させて染料を作るようだが、綿糸を何度も染料に浸すことにより深い藍色になっていくとの事。なにやら人生訓にもなりそうな。

さて、紺の作品を見ていると縦糸、横糸の組み合わせで味わい深い文様を成しており、かつ強度も得られ色あせず、その強い強度により古くから農作業等の作業着として長く愛されてきたが、最近は紺も進化してモダンなおしゃれ着なども作られていた。

われらが住むこの地域にこの縦糸・横糸を当てはめたら面白いと思った。古くからこの地域に住んでいる方、新しく来られた方、お年寄りや子ども達など住民を横糸としてそれらの個性を強固につなぐ縦糸としてのコミュニティがこれからも発展し続けられと願うものである。

広報部会 部会長・檜垣

発行元

いきいきコミュニティ事務局(毎週火・木・金13:00~17:00開局)
TEL 935-9771 / FAX 936-1200

※コミュニティ(広報誌含め)へのご意見、ご感想お待ちしております。



広報部会長・檜垣 副部会長・林
れいんぼー保育園保護者代表・西嶋
れいんぼー幼稚園PTA代表・竹中
第二小代表・園田 事務局・国崎、米倉